

城山公園再整備基本構想(素々案) 参考資料

目 次

参考1)条件整理.....	1
参考2)城山公園の施設群からみた整備の経過.....	4
参考3)城山公園内の特徴.....	12

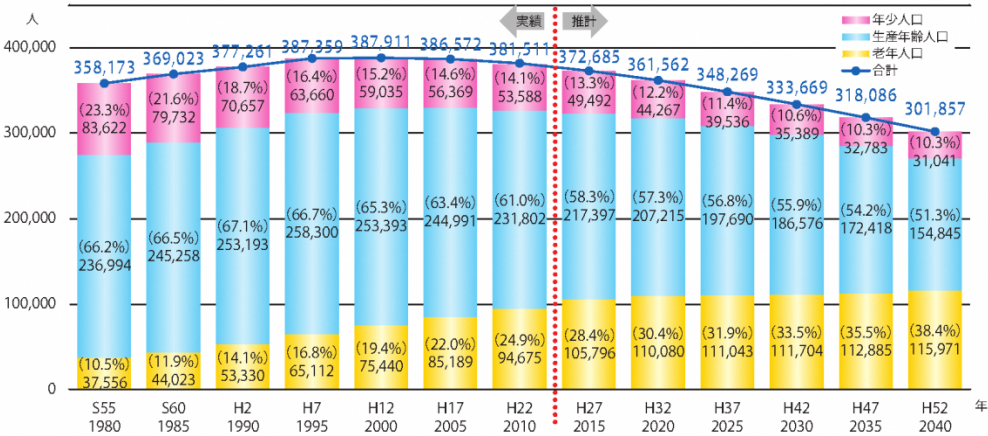
令和元年6月18日

城山公園再整備検討委員会
長野市 都市整備部 公園緑地課

参考1)条件の整理

①長野市の人口

- 本市の人口は平成 30年 10 月1日現在、378,351 人(住民基本台帳の登録人口) であるが、平成 12 年をピークに減少傾向、将来も人口減少が続くことが予測されている。
- 年々、年少人口と生産年齢人口が減少する一方で、老年人口は微増である傾向。
- 老年人口に着目すると、2015年から2040年までは、総人口数は減少して、高齢化率(65歳以上を占める割合)は増加するが、老年人口数そのものは微増、ほぼ一定である。



(平成22年までの実績は、国勢調査結果、将来推計は国立社会保障・人口問題研究所(平成25年3月公表)日本の地域別将来人口推計(出典:長野市公共施設白書、平成25年))
※平成27年実施の国勢調査の集計値は、総人口377,598人(年少人口49,052人、生産年齢人口216,734人、老年人口106,007人)であった。

図 長野市の年齢3区分別人口推移と推計
出典:長野市都市計画マスタープラン,平成29年4月,長野市

③城山公園の利用状況

- 城山公園の施設別の利用者と、善光寺の来訪者とを比較すると、善光寺来訪者の数%の利用となっている。
- 施設別の比率は次のとおり。
(各施設は、善光寺利用者がすべて利用するとは限らない)

	単位:人					
	26年	比率	27年	比率	28年	比率
善光寺	6,255,100	—	12,288,800	—	6,419,100	—
城山動物園	265,200	4.2	269,800	2.2	248,900	3.9
信濃美術館	58,700	0.9	65,700	0.5	165,100	2.6
少年科学センター	107,000	1.7	107,300	0.9	107,300	1.7
東山魁夷館	67,500	1.1	85,900	0.7	68,000	1.1
城山テニスコート	16,208	0.3	15,930	0.1	16,272	0.3
城山プール	10,414	0.2	12,808	0.1	15,862	0.2
蔵春閣	7,495	0.1	9,270	0.1	—	—

比率は、(各施設) / (善光寺) × 100%
出典:長野市公園緑地課調べ (基本条件の調査書のデータを用いて作成)

②各観光地の利用状況

- 善光寺は県内の観光地のなかでは、毎年1〜2位の利用者数がある。
- 月別をみると、4〜5月、8月、11月の3つのピークがある。

順位			市町村名	観光地名	延利用者数			対前年増減	対前年増減比
					27年	28年	29年		
2	1	1	軽井沢町	軽井沢高原	8,403	8,458	8,530	72	0.9
1	2	2	長野市	善光寺	12,283	6,485	6,421	△ 64	△ 1.0
3	3	3	諏訪市	諏訪温泉・諏訪湖	3,979	3,988	4,009	21	0.5
4	5	4	山ノ内町	志賀高原・北志賀高原	3,343	3,106	3,289	182	5.9
5	6	5	諏訪市	霧ヶ峰高原	2,306	2,300	2,283	△ 17	△ 0.7
6	7	6	白馬村	白馬山麓	2,271	2,020	2,156	136	6.7
8	8	7	立科町・茅野市	白樺湖・東白樺湖	1,985	1,944	1,931	△ 13	△ 0.7
7	4	8	上田町	上田城跡	2,151	3,488	1,788	△ 1,700	△ 48.7
12	12	9	安曇野市	安曇野穂高温泉郷	1,421	1,541	1,664	123	8
9	10	10	安曇野市	安曇野湧水群	1,758	1,782	1,616	△ 166	△ 9.3
10	11	11	長野市	戸隠高原	1,618	1,583	1,495	△ 87	△ 5.5

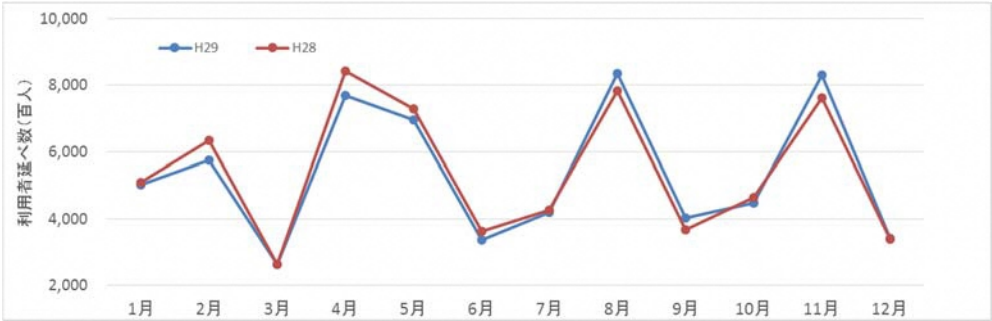


図 善光寺の月別の利用者延べ数
出典:平成29年観光地利用者統計調査結果,長野県観光部をもとに作成

④上位関連計画等

・城山公園の再整備を検討する際には、上位計画や関連計画の位置づけ等を把握することが重要である。次に示した計画等と整合を図ることが必要である。

■長野市都市計画マスタープラン(H29.4改定)

地域特性

・善光寺に隣接する城山公園には美術館などが立地し、文化・芸術・レクリエーションの拠点となっている。

地域の街づくりの目標と整備の方針

【拠点の形成・都市機能形成方針】

・城山公園一帯では、都市の貴重な緑地空間の保全を図るとともに、文化・芸術の拠点性を高め、広域的な文化・芸術・レクリエーション・防災等の機能が一体となった地域形成を進める。

【自然環境・都市環境・景觀形成方針】

・城山公園一帯の自然環境を活かすとともに、文化・芸術・レクリエーションの機能を高める施設の再整備を図る。

【防災都市づくり方針】

- ・災害に強い地域づくりを進め、広域避難場所としての城山公園の防災機能強化を図る。

■長野市緑を豊かにする計画(H31.4改定)

量から質への転換

市民意見を取り入れながら、既設公園の再整備等を進める。

- ・ユニバーサルデザインや防犯・周辺景観との調和に配慮した公園再整備(城山公園、川中島史跡公園等)

民間活力の導入

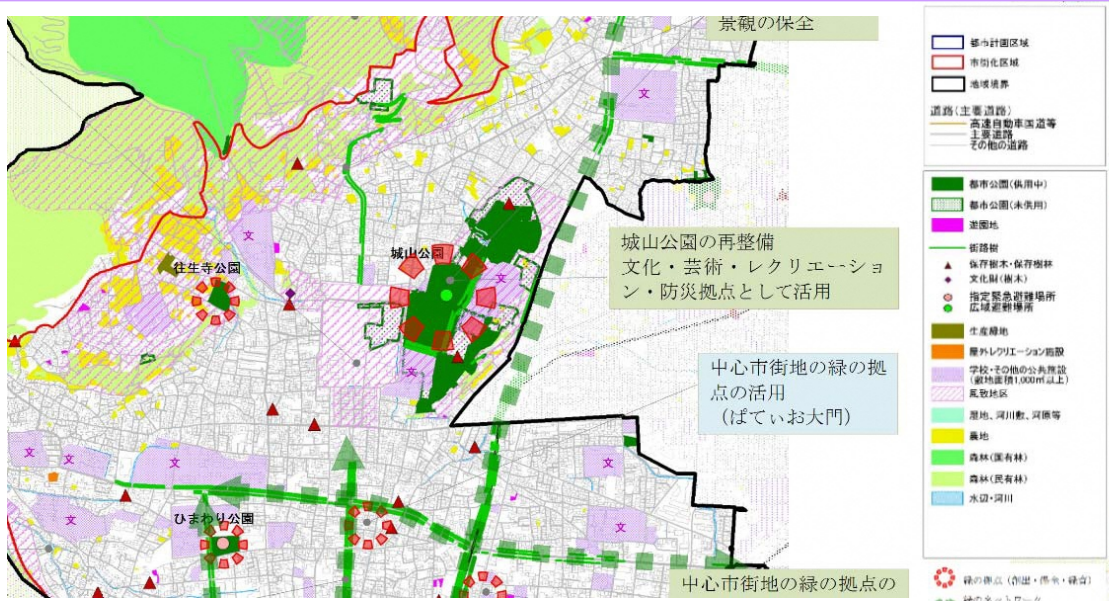
都市公園に民間の投資を誘導し、財政負担を軽減しつつ、質の向上、利便性の効用を図る。

・Park-PFIの導入(城山公園、篠ノ井中央公園)

↑ 主な改正内容より抜粋（長野市HP <https://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kouen/427145.html>

地域別計画の抜粋

- ・中心市街地をはじめ、市街地における民有地の緑化や公共施設用地の緑化を市民との協働で進めます。
- ・長野市のシンボルとなる城山公園を文化・芸術・レクリエーションの拠点としての機能向上を図ります。
- ・善光寺とその周辺の歴史ある緑を保全します。



■地域防災計画(H29.7改訂)

○広域避難場所

- ・城山公園一帯(公民館、小学校を含む)
長野市の広域避難所10箇所の中のひとつ。
- ・周辺の一歩避難場所としては、信州大学教育学部(西長野6のロ)、長野西高等学校(箱清水3-8-5)、湯谷小学校(上松4-28-38)、長野高等学校(上松1-16-12)

○周辺の道路

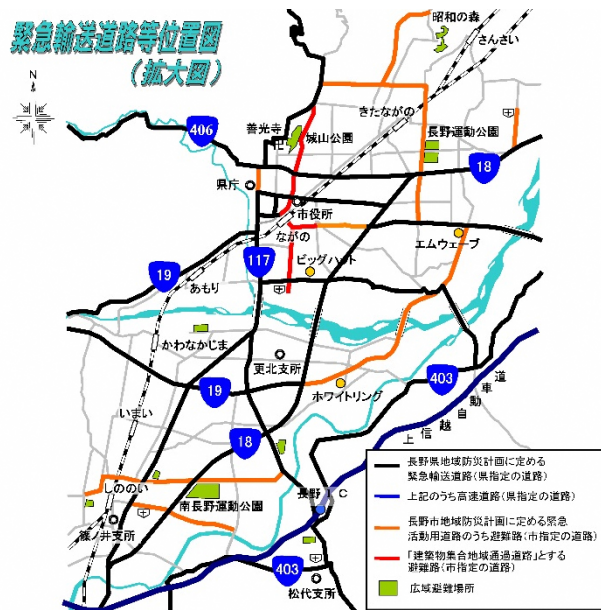
- ・長野県地域防災計画に定める緊急輸送道路(県指定の道路)
城山公園に近接道路
- ・長野大通り「建築物集合地域通過道路」とする避難路(市指定の道路)

■長野市観光振興計画(H29.4策定)

第1節 政策・事業体系

基本戦略は計画期間中に市やながの観光コンベンションビュローが中心とな
って取り組む基本的な施策を、5つの政策の柱により体系的にまとめています。
これらの事業は、庁内関係課及び関係機関と積極的に連携して実施します。

総合計画 事業	政策	施策	事業
漁業 1 豊かな観光資源 環境を活かした観光 交流	1 観光地域づくりの実践	1-1 観光情報発信の効果的な発信	1-1-1 共通のコンセプトに基づく観光情報発信
			1-1-2 ターゲットに向けた効果的な情報発信
			1-2-1 「長野市ならではの」の食や土産物(飲食物)の開発支援
			1-2-2 市内滞在時間延長のための普光寺岩屋、戸隠、松代を起点とした周遊コンテンツ開発
			1-2-3 スポーツや文化芸術、文化財などを切り口としたコンテンツ開発
			1-2-4 未活用地域資源を活かした新しいコンテンツ開発支援
			1-3-1 観光リーダー育成支援
			1-3-2 観光関連事業者間連携・受入体制構築支援
			1-3-3 おもてなし意識の醸成
			2-1-1 広域周遊観光促進のための



事業 1-2-2 市内滞在時間延長のための善光寺界隈、戸隠、松代を起点とした周遊コンテンツ開発

事業概要	
観光客の市内滞在時間延長のため、善光寺界隈、戸隠、松代を起点とし、周辺エリアへの周遊を促すためのコンテンツ開発等を行う。	
主な取組内容	主な実施主体
善光寺界隈、戸隠、松代と他の観光資源をつなぐ観光コンテンツの開発 開発したコンテンツのプロモーション 善光寺～城山公園～信濃美術館の周遊促進	観光振興課、商工労働課、文化財課、 環境政策課、公園緑地課、 ながの観光コンベンションビューロー、 各観光協会

■公共施設等総合管理計画(H29.3策定)

表4-1 再編・再配置の計画

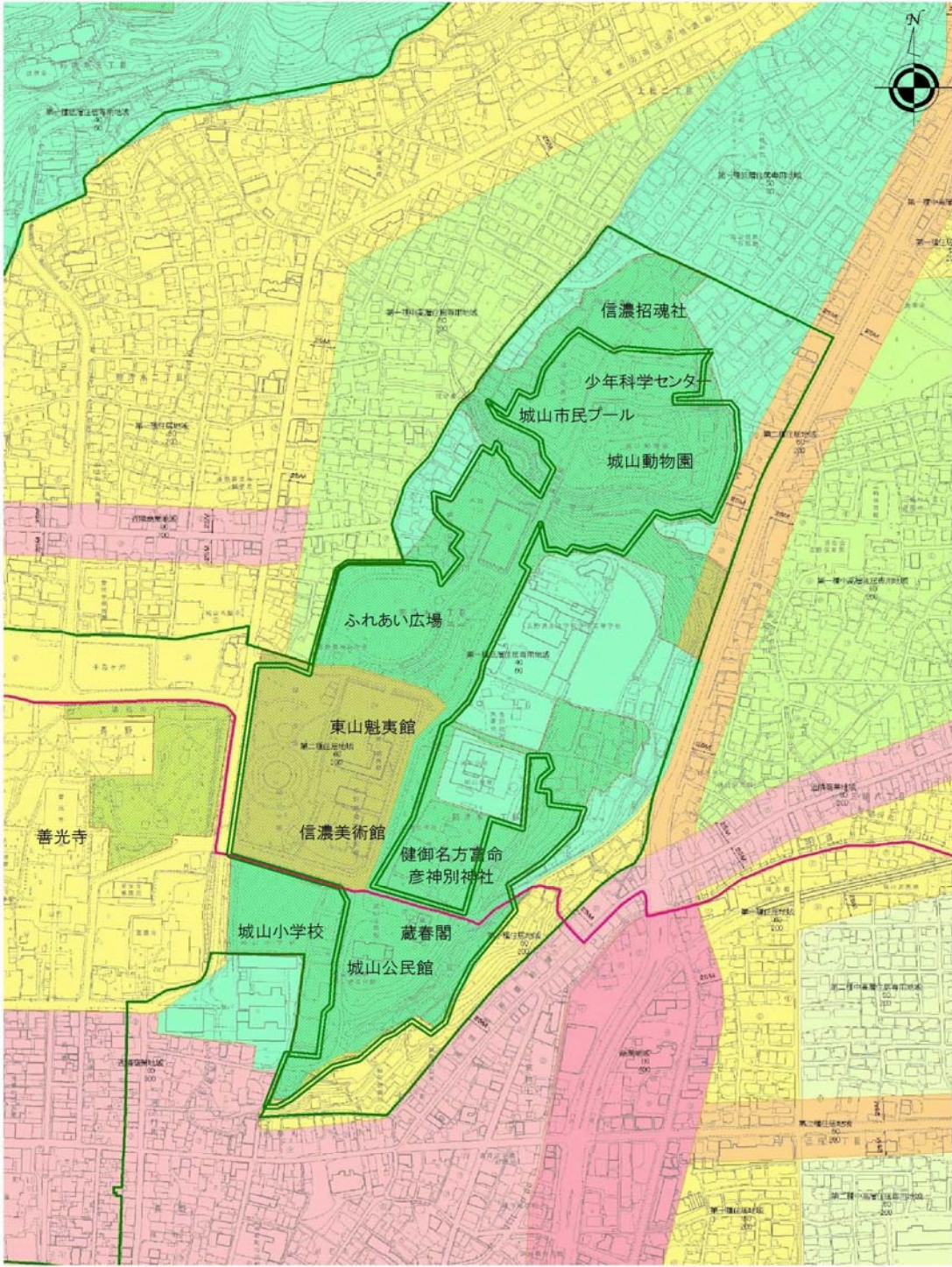
施設名	計画の内容	計画の工程
茶臼山動物園城山分園 【築 55 年】	信濃美術館再建に伴う、城山公園一体の再整備検討の中で在り方を検討する。	
城山公民館別館（蔵春閣） 【築50年】	城山公園再整備計画に合せて、一体整備を検討する。	城山公園再整備計画の検討を踏まえて事業化
少年科学センター 【築 31 年】	信濃美術館再建に伴う、城山公園一体の再整備検討の中で在り方を検討する。	
城山庁舎 【築 54 年】	長野広域連合が、建設中の清掃センターへ平成 31年度を目処に移転することから、公文書館の移転先を検討している。信濃美術館再建に伴う、城山公園一体の再整備検討の中でも在り方を検討する。	平成31年度を目途に検討
市民プールの再編	平成26年度包括外部監査の意見などを踏まえ、効率的に活用されていない施設の廃止を検討する。再配置計画モデル施設群として、平成28年度に案を作成し議論のきっかけづくりを行う。平成 29 年度以降市民の意見を聞き、平成30年度を目途に統廃合案を決定する。	

⑤法規制等

- 計画のほか法規制も重要である。
- 城山公園の周りは住居系の地域に囲まれている状況である。

都市計画における規制

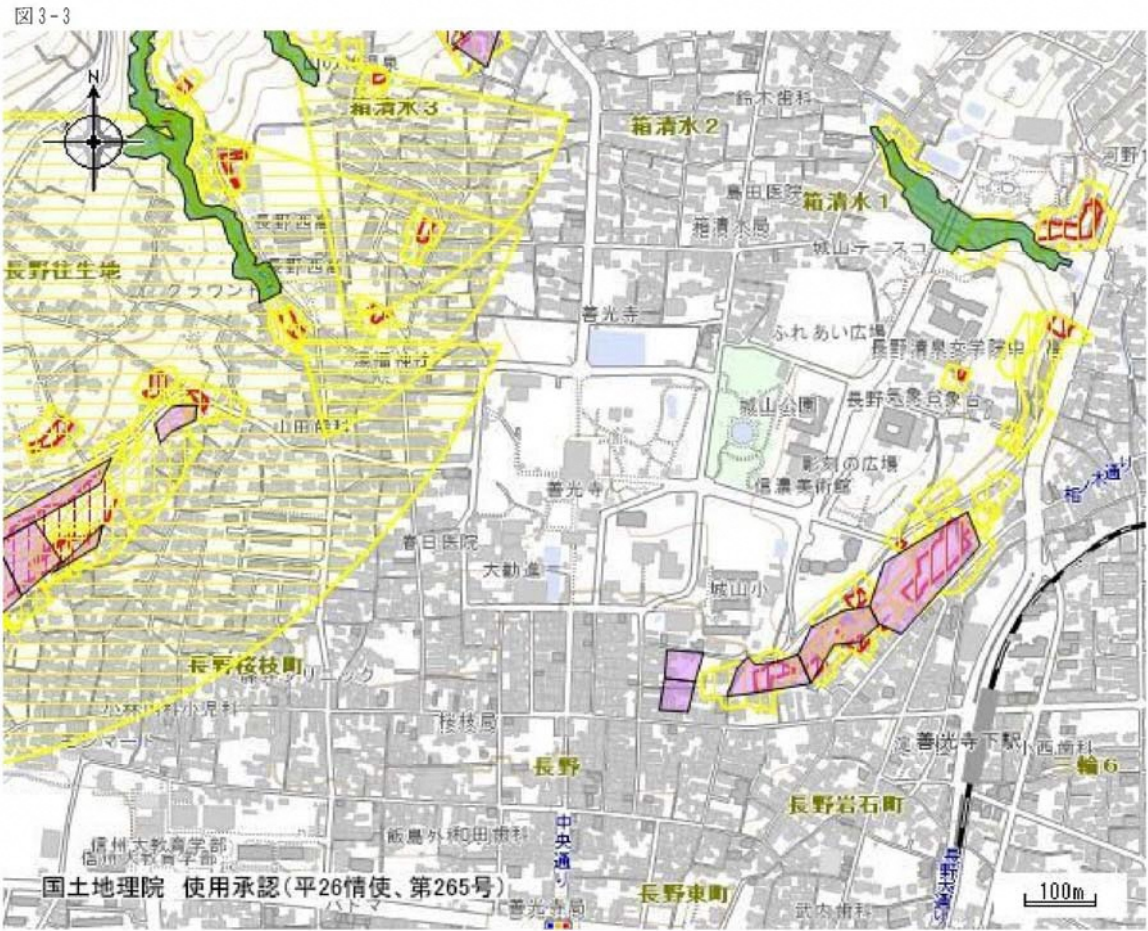
城山公園エリアの都市計画について、用途地域は主に第一種低層住居専用地域と、第二種住居地域の二つである。また、第二種風致地区（善光寺城山風致地区）の範囲内であり、建築制限や色彩の基準がある。



- | | | | |
|---|-----------|--------------|---------|
| 凡 | 城山公園 計画区域 | 第一種低層住居専用地域 | 第一種住居地域 |
| | 城山公園 開設区域 | 第一種中高層住居専用地域 | 第二種住居地域 |
| 例 | 風致地区（二種） | 準防火地域（南側） | 近隣商業地域 |

防災関係の規制

城山公園一帯は周囲より小高い場所に位置している。そのため、城山公園の東側は急斜面地が多く分布しており、「急傾斜地崩壊危険区域」や「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」に指定されている。区域内での制限行為は右記に整理した。また、城山公園北側の「堀切沢」は砂防指定されており、土石流などの対策が施されている。



- | | |
|---|-----------------------------------|
| | 急傾斜地崩壊危険区域（急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律） |
| 凡 | 土砂災害警戒区域（土砂災害防止法） |
| 例 | 土砂災害特別警戒区域（土砂災害防止法） |
| | 砂防指定地（砂防法） |

参考2)城山公園の施設群からみた整備の経過

■これまでの城山公園の施設・機能の推移

- ・長野のまちの発展とともに、歴史を刻んできた城山公園を大きく4つに大別。
- ・その時代のニーズにより、公園の使われ方も変化してきている。

善光寺に隣接する立地を活かしたコンベンション的な役割
～明治41年 5ページ

東洋一の西洋式庭園完成-城山公園のはじまり
善光寺御開帳と同時に開催した博覧会にぎわいをみせる
明治41年～昭和24年 6ページ

市で城山公園が条例化されて、様々な公園施設がつけられていく。
昭和41年～ 7、9ページ

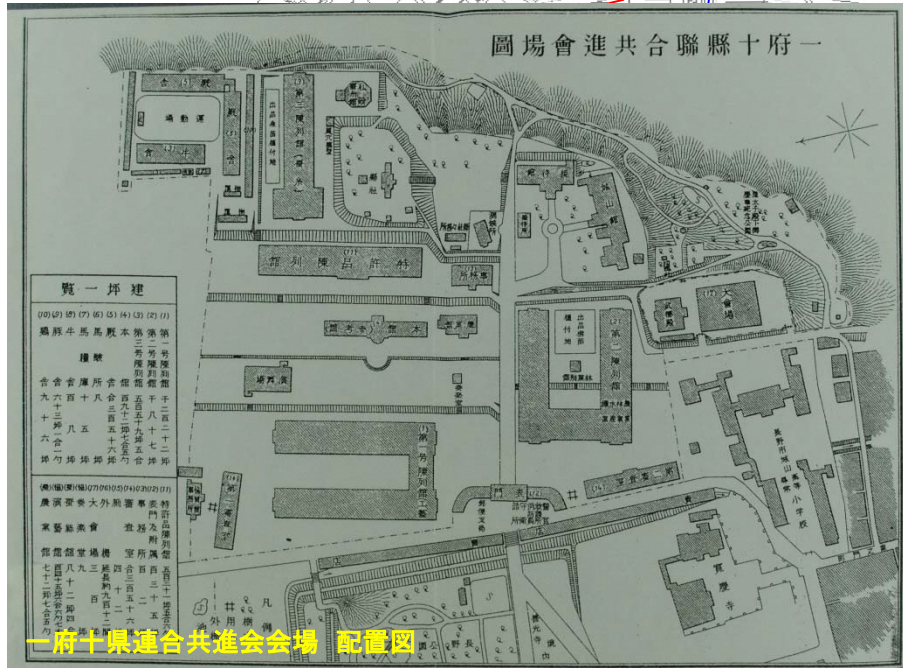
城山公園開園100年。
機能移転など、施設が再整備されはじめる。
平成12年～ 11ページ

機能等	主な利用者層	主な利用範囲	施設名 斜体は、現在ない施設	M10	M15	M20	M25	M30	M35	M40	T1	T5	T10	S1	S5	S10	S15	S20	S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H1	H5	H10	H15	H20	H25	H30
スポーツ・レクリエーション	大人	市内	テニスコート																														
	小人・家族	市内	市民プール																														
	小人・大人	広域	野球場																														
	大人	市内	バレーコート																														
教育（科学を通じた）	小人・家族	市内	少年科学センター																														
芸術・文化	大人	広域	信濃美術館																														
	大人	広域	東山魁夷館																														
	小人・大人	広域	長野市野外劇場																														
	小人・大人	広域	野外彫刻																														
広場、多目的利用	小人・家族	市内	ふれあい広場																														
	小人・大人	市内																															
噴水、観賞空間	小人・大人	広域	噴水広場																														
花時計、観賞空間	小人・大人	広域																															
コミュニティー、交流（市全体）	小人・大人	広域	城山館																														
	小人・大人	広域	蔵春閣																														
コミュニティー、交流（地域）	小人・大人	市内	長野観光館 ⇒城山公民館																														
	小人・大人	市内	参考館																														
動物園 博物館的	小人・家族	市内	城山動物園																														
遊園地 レクリエーション	小人・家族	市内																															
親水空間	小人・家族	市内	堀切沢																														
桜の名所、花見	大人・家族	広域	桜並木																														
展望 眺望空間	小人・家族	広域	蔵春閣(展望台)																														
歴史・寺社仏閣	大人	市内	健御名方富命彦神社																														
	大人	市内	信濃招魂社																														
行政機関	大人	市内	城山分室(城山庁舎)																														
駐車場	大人	広域	立体駐車場																														
管理施設	小人・大人	-	トイレ等																														
主なイベント等																																	

※明治30(1897)年4月1日 長野市誕生

①公園の歴史その1 ～善光寺に隣接する立地を活かしてコンベンション的な利用される城山公園～（明治41年頃の様子）

- ・城山公園は、明治33(1900)年に、皇太子殿下御慶事記念公園として開設される。
- ・善光寺に隣接する立地を活かして、博覧会を開催。多くの方が訪れている。



一府十県連合共進会会場 配置図



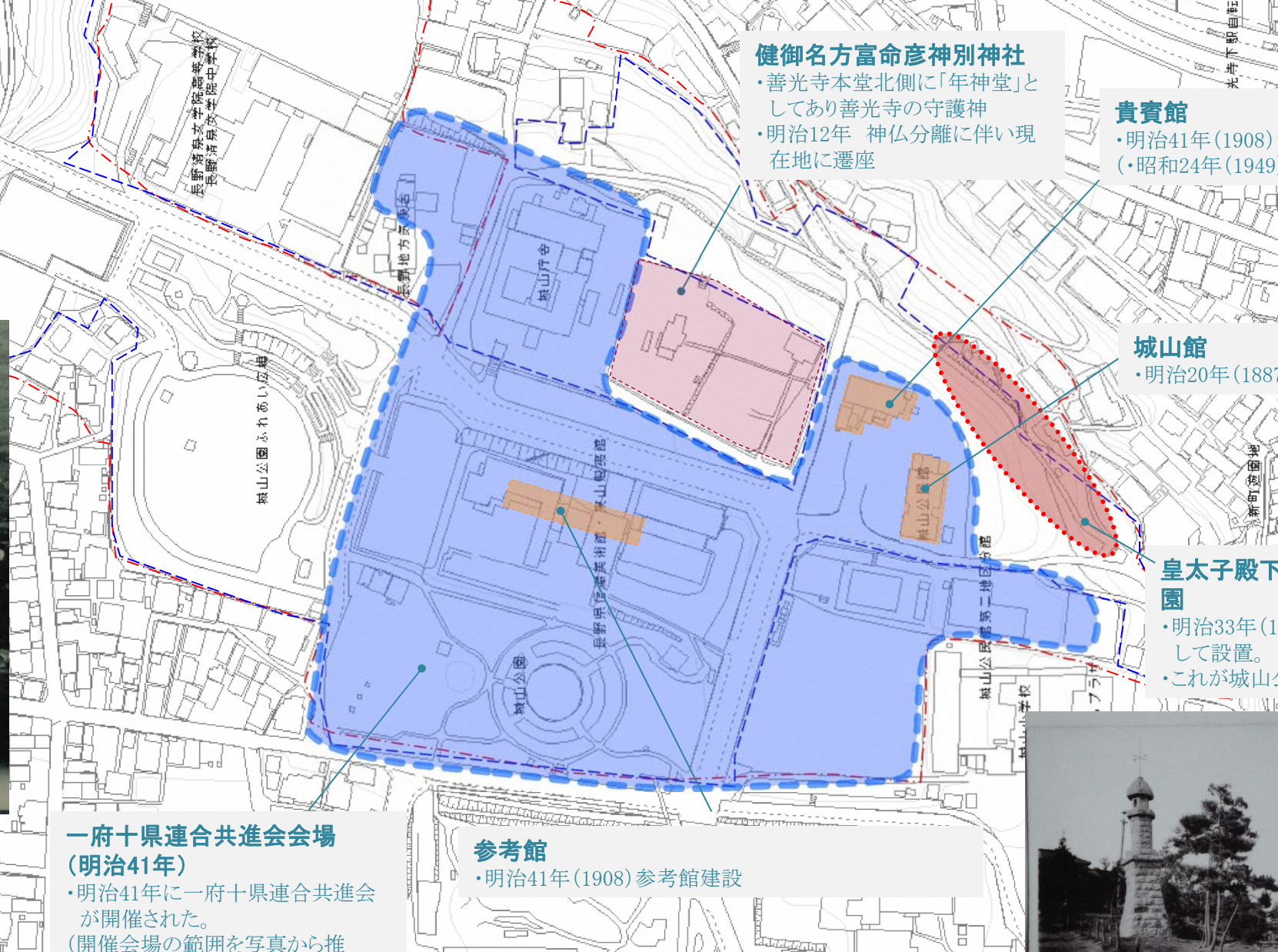
一府十県連合共進会会場 全景

※一府十県連合共進会

- ・東京府、神奈川、新潟、埼玉、群馬、千葉、茨城、栃木、山梨、愛知、長野の一府十県が持ち回りで毎年開催
- ・博覧会の規模を小さくしたようなもので、穀物や蚕種、牛や豚といった農産物や、織物、農機具、織機などの工業製品を持ち寄って行う品評会
- ・各府県の関係者は、農林館、工芸館、蚕糸館、特許館などに、それぞれ自慢の産物を並べ、客を呼んだ



城山公園から川中島方面の眺望



健御名方富命彦神別神社

- ・善光寺本堂北側に「年神堂」としてあり善光寺の守護神
- ・明治12年 神仏分離に伴い現在地に遷座

貴賓館

- ・明治41年(1908) 貴賓館建設
- ・昭和24年(1949) 焼失

城山館

- ・明治20年(1887) 城山館開館

皇太子殿下御慶事記念公園

- ・明治33年(1900) 記念公園として設置。
- ・これが城山公園の原型である。

参考館

- ・明治41年(1908) 参考館建設

一府十県連合共進会会場

(明治41年)

- ・明治41年に一府十県連合共進会が開催された。(開催会場の範囲を写真から推定。)
- ・なお、善光寺御開帳は明治39年。



②公園の歴史その2 ～城山公園のはじまり、善光寺御開帳と同時に博覧会が開催され、にぎわいをみせる～（昭和37年頃の様子）

- ・東洋一の西洋式庭園(T4(1915))完成し、城山公園が整備されはじめる。
- ・善光寺御開帳と同時に開催した博覧会でにぎわいをみせる。
 - 平和博覧会(S24(1949))
 - 長野産業文化博覧会(S36(1961))

信濃招魂社
 ・明治35年(1902)社殿造営
 ・昭和18年(1943)現在地に遷座

長野日米文化センターを兼ねた公民館
 (昭和25年)※元参考館

長野市公民館

- ・明治41年(1908)参考館建設
- ・長野商品陳列館→長野県商工奨励館→公民館→CIE図書館→長野市公民館アメリカ文化部、長野アメリカ文化センター→長野日米文化センター→取り壊し？

健御名方富命彦神別神社

貴賓館

- ・明治41年(1908)貴賓館建設
- ・昭和24年(1949)焼失

城山館

- ・明治20年(1887)城山館開館
- ・昭和24年(1949)焼失

城山館からの眺望
 (昭和20年代)

桜並木

- ・昭和26年の写真に桜並木があるので、おそらく、これ以前に植栽されている。

善光寺と桜並木
 (昭和26年)

噴水広場

- ・大正4年(1915)西洋式庭園、大噴水整備
- ・噴水整備(昭和35年)
- ・花時計設置(昭和37年)

城山グラウンド

- ・大正15年(1926)整備。(平成12年(2000)閉園)

噴水(昭和20年)

空中写真 昭和22年(1947)

現在公園区域の凡例

- 城山公園 計画区域
- 開園区域

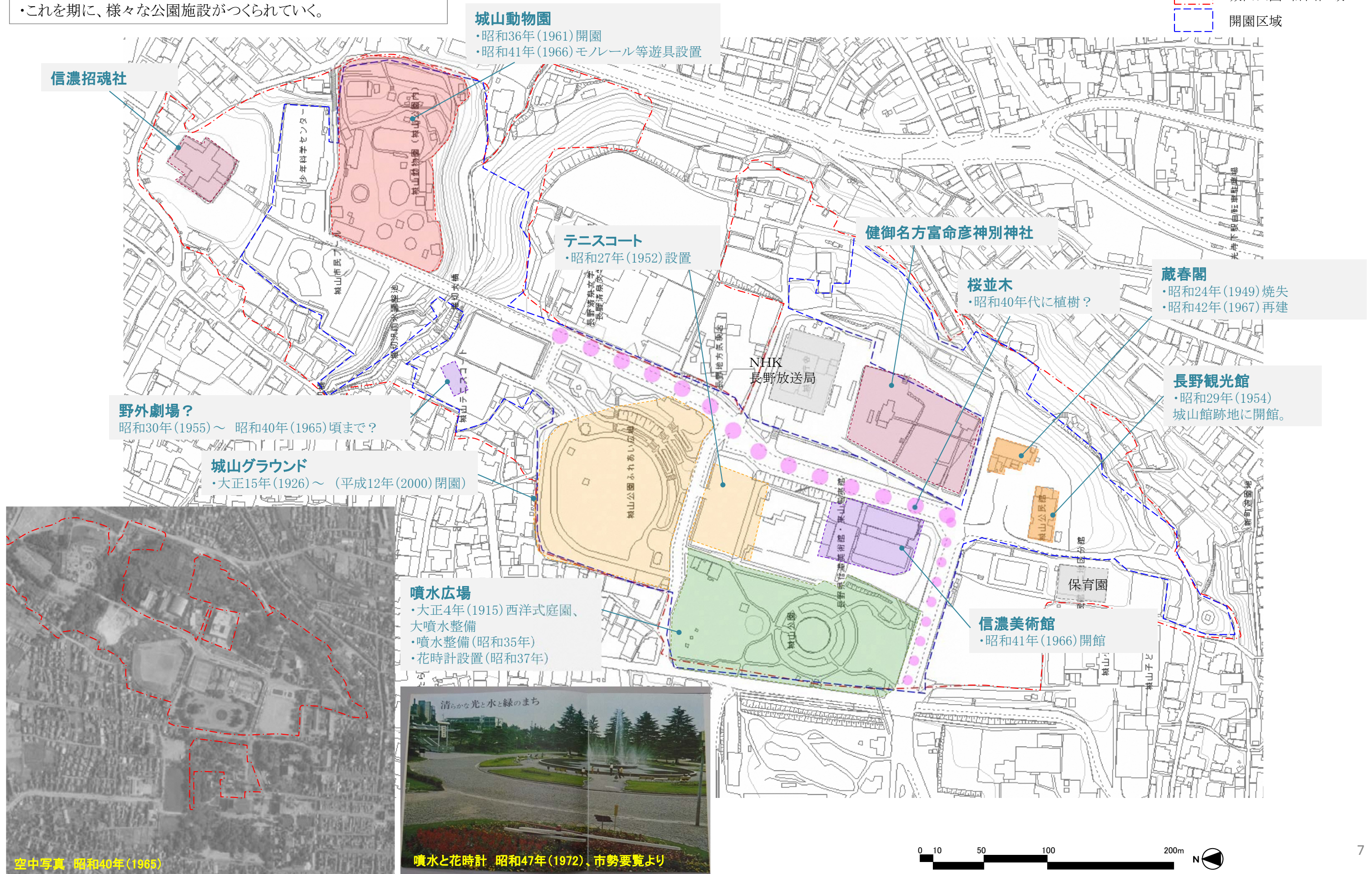


③公園の歴史その3-1 ～城山公園が条例化されて、様々な公園施設がつくられていく～（昭和41年頃の様子）

- ・城山公園が昭和41年に条例化されて、区域も約12haとなり、現在の公園敷地エリアまで拡大されている。
- ・これを期に、様々な公園施設がつくられていく。

現在公園区域の凡例

城山公園 計画区域
開園区域



④公園の歴史その3-2 ～城山公園が条例化されて、様々な公園施設がつくられていく～（平成元年頃の様子）

- ・市民プールや、テニスコートなどのスポーツ施設も整備されたり、施設のリノベーションなどにより、城山公民館などが整備されている。

少年科学センター
・昭和60年(1985)開館

信濃招魂社

城山市民プール
・昭和46年(1971)設置

テニスコート
・昭和53年(1952)設置

城山グラウンド
・大正15年(1926)～ 平成12年(2000)閉園

城山動物園

- ・昭和36年(1961)開園
- ・昭和41年(1966)モノレール等遊具設置

堀切沢

- ・昭和59年(1984)堀切沢改修工事
- ・ホテル水路を築造した下水道モデル事業

健御名方富命彦神別神社

桜並木

蔵春閣
・昭和42年(1967)再建

城山公民館
・昭和45年(1970)中央公民館増設

信濃美術館
・昭和41年(1966)開館

東山魁夷館
・平成元年(1989)開館

噴水広場
・花時計設置(昭和37年)
・2代目噴水完成(昭和56年)

空中写真 平成14年(2002)

噴水と花時計 昭和58年(1983)、市勢要覧より

現在公園区域の凡例

城山公園 計画区域

開園区域

参考) 少年科学センターは、市の青少年の科学の興味を喚起するもので地附山に建設予定であったものが、城山公園へ機能追加(昭和58年～ 少年科学センター昭和60年建設)

- 少年科学センター: 21 世紀を担う子どもたちに、最新科学とそれに関連する基礎的な 科学機器を展示し、遊びの中に科学する芽を養い、いつも新鮮な驚きと楽しい雰囲気によって、潜在的興味を喚起させるための施設 (公共施設白書 p131より)
- 長野県内の科学館として、「少年科学センター」と「佐久市のこども未来館」との2施設。

長野市立児童科学館(仮称)の基本的考え方

1.建設の目的

長野市総合基本計画の都市像を展望し、「かおり高く、気力あふれる教育文化都市」の実現と「青少年健全育成都市宣言」の達成をはかるため、この施設は、近代科学にふれることによって青少年の科学に対する潜在的興味を喚起し、健全な育成をはかる。

2.施設の性格と機能

長野市の美しさの表像と展示品の科学性との相乗的効果により、科学への興味を引き出す、次のような施設とする。

(1)性格

- ア 地附山都市公園計画により開発される、おおよそ30haの敷地内の自然環境豊かな景観の中の文化施設とする。
- イ 理工系児童科学館として遊び(体験と参加性)の中に、科学の芽を養う「科学の館」とする。
- ウ 公園内の遊戯施設及び長野市立博物館や理科センターと調和の上に独創をもたせる。
- エ 施設での体験を助長するため、制作教室の開催など教育普及と科学技術に関する資料の収集、調査、研究を行い、展示品の開発及び補修・更新に対応する。

(2)機能

- ア 地方文化の向上をはかる施設として、地方での科学学習を育てる。
- イ 科学が身近な生活にかかわって共存していることと理解を深めるとともに探求心を育てる。
- ウ おどろき・なぜ・夢を誘う科学の館として、楽しい雰囲気といつも新しい分野の発見できる継続性を持たせる。

3.施設の基本的要件の規模

多様な利用層に対応できる建物及び展示をはかり、次の点を考慮する。

- (1) 防災上の配慮と利用者の安全を確保する。
- (2) 建物は、落ち着いた親しみやすい、美的で気品のあるものとする。
- (3) 清潔、快適な環境を確保する。
- (4) 建物は、都市公園及び風致地区の規定による。
- (5) 利用者のための休憩室と身体障害者の利便をはかる。
- (6) 自然光、自然通風の利用をはかる。
- (7) 入口は一般と職員を分ける。
- (8) 展示品の搬入口を1F、2F毎に設ける。
- (9) 便所は、一般用、身障者用、様式を考慮する。
- (10) エレベーター設置の時は、 内部機構が見えるようにする。(安全性を特に考慮)
- (11) モーター・ポンプ・送風等の消音に配慮する。
- (12) 照明の系統は建物の内外ともに細分化する。
- (13) 屋外に水道・電気コンセントを設置する。
- (14) 建物に風向・風速計を設置する。
- (15) 建築面積は概ね3000㎡とし、管理室・研究所・工作室等の施設を確保する。
- (16) 将来、増築のための敷地を確保する。
- (17) 施設の概要

- ア 構造 鉄筋コンクリート造り又は、鉄骨造り
- イ 面積 3000㎡以内
 - 内訳 常設展示用面積 1500㎡内外
 - 特別展示用面積 200～300㎡内外
 - 実験工作用面積 150㎡内外
 - 視聴覚用面積 200㎡内外
 - 保管管理用面積 800～1000㎡内外

4. 展示の基本的考え方

- (1) 子どもたちの遊びは、生活準備説や反覆説などさまざまな説がありますが、子どもたちは、遊びそのものが目的であり、生活であります。また、人間形成に大きな役割を持っています。この科学館は、展示品との対話をこの視点から実現し、遊びのもつ非拘束性(自由で自発的)による自己開発をはかるものとする。
- (2) 展示品は、奥にある原理を探究していく糸口として計画される必要がある。したがってえ、まずわかる、また、わからせる展示工夫を行うことと、展示品自らの働きかけ(呼びかけ)を持たせるようにする。
- (3) 展示は、何をわからせるかを検討し表現する。児童から高年齢への理解度は高くなるが、全体的には学問的でなく人間のもたらした科学のすはらしさを、それなりにわかるで良い。
- (4) 見る・ふれる・ためす・つくるを基本に利用者のレベルに応じ、積極的に参加できるものとする。
- (5) 美しいから、大きいから、小さいから、面白いから、古いから、貴重だからと単に配列でなく、いくつかの中心的展示を核に有機的にストーリーを持たせる。
- (6) 展示品は、操作性、耐久性、安全性、省エネルギーを持たせる。また、可動性を考慮し固定展示は最小限にする。
- (7) 展示品の解説は、児童に視点をおき、文字は簡潔にする。
- (8) 視聴覚機器の活用をはかる。
- (9) 長野市の基調色は、自然の美「緑」空気と水の美しさ「青」稔の美しさ「黄」りんご「赤」とし展示との協調を考慮する。

宇宙遊泳装置 太陽望遠鏡...



大きな *夢。が示された第1回児童科学館調査委員会

児童科学館は、善光寺北のランドの一角に建設する。延地附山頂に計画中のレジャー ベ三千平方メートル程度で、うち二千平方メートルを展示スペース、残りを研究室、研究室に充てる。総事業費は十億円を見込み、うち六億円が建設費、四億円が展示部門に使われる。オープンは六十年夏の見通しだ。

この日の委員会で、市側がたたき台として示した展示部門の構想は、子供たちが実際に体験できる各種装置が目玉。例として、アンテナを設置して、気象衛星から電波を受信し、それをモニターで雲の画像にする装置や太陽の黒点、炎などを観測できる太陽望遠鏡、光ファイバーを使った通信の実演、テレビ電話、レーザー光線によるホログラフィー(立体投影機)の実験装置、マイコンの解説コーナーなど興味ある内容が目立つ。

いずれも高価な装置とあつて、委員会では「四億円ではとても足りない」といった声も聞かれた。このため、委員会の作業は当面、市側構想のうちどの部分を生かし、どれを削除するか、といった詰めになる見通し。市側は「電気、通信など地元の民間企業を中心に物心両面で協力をお願いすることになると思う。子供の夢をはくくむ事業だけに、できるだけ多くの協力を求めていきたい」(小池市教委教育次長 など)話している。

実際の体験可能 市側が展示構想

昭和58年?7月21日新聞記事

⑤公園の歴史その4 ～城山公園開園100年。機能移転はじめ、施設が再整備されはじめる～（現在の様子）

・城山公園開園100年(平成12年)頃には、野球場が南長野公園に移転し、ふれあい広場に整備されるなど、公園施設の再整備がはじまってきている。

城山動物園

- ・昭和36年(1961)開園
- ・昭和41年(1966)モノレール等遊具設置
- ・平成14年(2002)飯綱の森設置

堀切沢

- ・昭和59年(1984)堀切沢改修工事
- ・現在閉鎖中

城山分室(城山庁舎)

- ・平成11年(1999)開所
- ・平成30年(2018)移転、閉鎖

現在公園区域の凡例

- 城山公園 計画区域
- 開園区域

少年科学センター

- ・昭和60年(1985)開館

信濃招魂社

城山市民プール

- ・昭和46年(1971)設置

立体駐車場

- ・平成19年(2007)設置

テニスコート

- ・平成13年(2001)新設

ふれあい広場

- ・平成19年(2007)開園
- ・城山グラウンドから、防災機能を付加した広場に整備

噴水広場

- ・花時計設置(昭和37年)
- ・2代目噴水完成(昭和56年)
- ・噴水広場として、再整備を実施中

健御名方富命彦神別神社

桜並木

蔵春閣

- ・昭和42年(1967)再建
- ・平成30年(2018)閉鎖

城山公民館

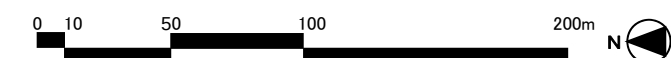
- ・昭和45年(1970)中央公民館増設

信濃美術館

- ・昭和41年(1966)開館
- ・全面改築中、平成30年撤去工事など

東山魁夷館

- ・平成元年(1989)開館
- ・改修工事など実施



参考3) 城山公園内の特徴 (1) 既存の主な公園施設について

①施設の特徴

・時代のニーズにあわせて整備された公園であり、総合公園の特性を活かして、様々な機能を有する公園施設が立地している。

 城山公園 計画区域
 開園区域

少年科学センター

・県内でも数少ない子ども向けの全天候型屋内施設

城山動物園

・中心市街地に隣接した動物園
 ・無料の動物園であり、市民にとって身近な動物とのふれあいの場
 ・遊園地施設あり

堀切沢の豊かな自然

・ホタル水路
 ・現在閉鎖中

鎮守の森

・信濃招魂社の境内の樹林
 ・木々に囲まれ喧騒から離れた空間

城山市民プール

・屋外の市民プールでは2番目に利用者が多い(9箇所中)

城山テニスコート

・市営テニスコートでは3番目に利用者が多い(17箇所中)

ふれあい広場

・イベント等ができる広い芝生広場

噴水広場

・花時計とともに城山公園のシンボル

東山魁夷館

・東山魁夷が長野県に寄贈した作品を中心に公開

信濃美術館

・県内唯一の県立美術館

展望広場

・善光寺平を一望
 ・現在は木々に囲まれ見えない

蔵春閣

・結婚式場や会議場、演劇などに利用されてきた。
 ・屋上から門前町と善光寺平を一望できた

鎮守の森

・健御名方富命彦神別神社の境内の樹林
 ・木々に囲まれ喧騒から離れた空間

ソメイヨシノの桜並木

長野市の花見の名所。境内に花見茶屋が出店し、長野市の花見の風物詩。



②類似施設の分布(周辺地域)

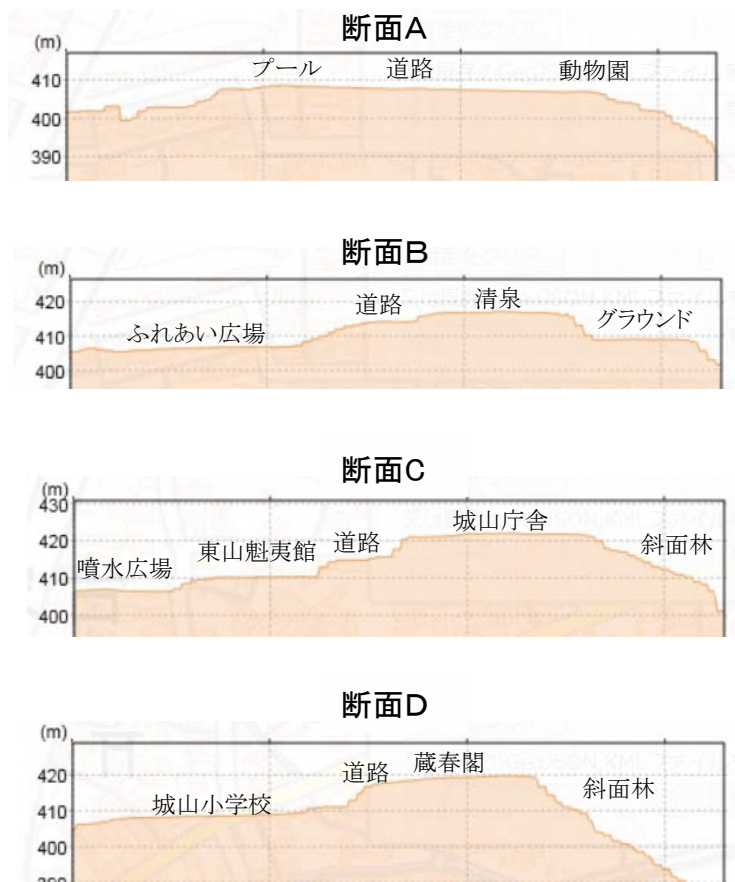
・城山公園周辺には、スポーツ施設や、芸術文化施設などが3km圏内に多く分布している。
(テニスコート3km圏内に3施設、芸術・文化施設3施設など)

- 凡例
- スポーツ施設(プール)
 - スポーツ施設(テニスコート)
 - 芸術・文化施設
 - 公園(総合公園、地区公園)
 - コミュニティセンター
 - 親水空間

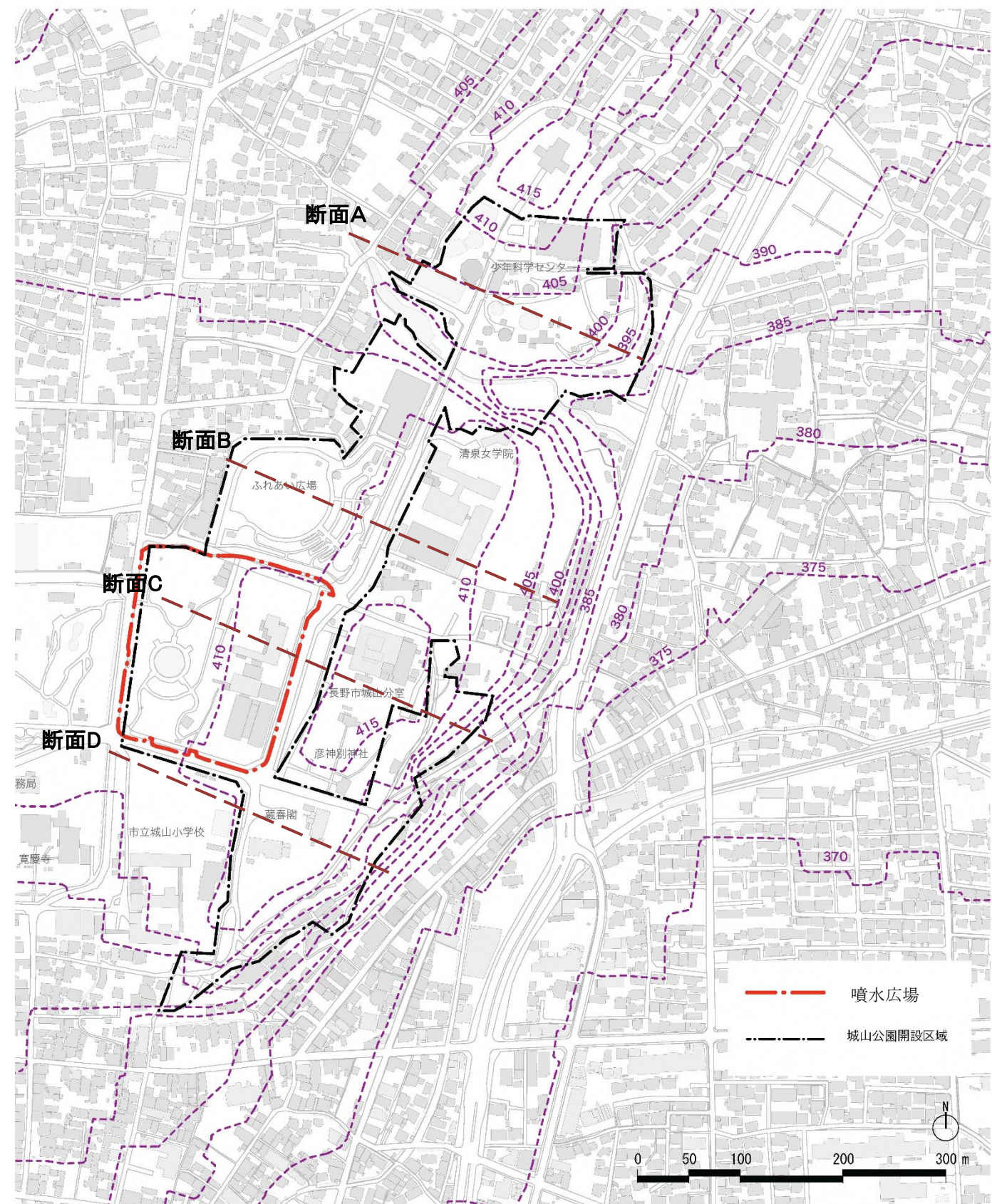


③地形条件 高低差がある園内

- ・城山公園エリアで最も高いのが健御名方富命彦神別神社であり、西側は比較的なだらかな地形であるが、東側には急な斜面が広がる地形である。
- ・また、南北道路から西側をみると、山地の美しい山並みが望める特徴的な風景が広がる。
- ・大部分が南北の道路で分断され、かつ、道路沿いを挟んで、高低差がある。
- ・プールや動物園、少年科学センターの一体は、高低差がほとんどない。



上グラフは、国土地理院ウェブ地図にて作成。「地形断面図」



上図は、城山噴水広場基本設計の設計説明書の抜粋、一部加筆
赤ラインは、噴水広場の範囲

④各施設・土地利用の課題

- ・園内の大部分の施設が30年以上が経過し、施設の老朽化がみられる。また、サクラの老木もみられる。
- ・なお、一部の施設でバリアフリー化が必要な施設もある。

少年科学センター

- ・施設の老朽化(築33年)
- ・展示の老朽化、展示内容の更新が必要

城山動物園

- ・一部施設の老朽化(築50年以上の施設多数)
- ・動物園内のバリアフリー対応(車いすで行けない施設あり)

築30年以上の施設

桜並木の老木化

堀切沢

- ・施設の老朽化
- ・現在閉鎖中

城山分室(城山庁舎)

- ・解体見込み

No	施設名	整備年	経過年数
1	少年科学センター	1985(S60)	34年
2	城山動物園	1961(S36)	58年
3	城山市民プール	1968(S43)	51年
4	堀切沢自然園	1984(S59)	35年
5	城山テニスコート	2001(H13)	18年
6	立体駐車場	2007(H19)	12年
7	ふれあい広場	2007(H19)	12年
8	信濃美術館	整備中	-年
9	東山魁夷館	1990(H2)	29年
9	噴水広場	整備中	-年
10	蔵春閣	1967(S42)	52年
11	城山分室	1963(S38)	56年
12	城山公民館	1970(S45)	49年

城山市民プール

- ・施設の老朽化(築50年)

蔵春閣

- ・解体見込み

城山公民館

- ・施設の老朽化(築48年)

桜並木

- ・ソメイヨシノの老木化

噴水広場

- ・施設(噴水)の老朽化(築37年)
- ・美術館と一体化利用を目指した再整備を設計中。

信濃美術館

- ・施設の老朽化(築52年)
- ・建替えにむけて、設計、工事中

施設・土地利用の主な課題をまとめると、次のとおり。

①園内施設(建築物、工作物)の老朽化

- ・築30～50年程度の施設が多く、施設の老朽化がみられる。
- ・トイレ、四阿、照明灯などの公園施設にも老朽化や劣化がみられる。

②園内樹木の老木化

- ・桜(ソメイヨシノ)の並木の老木(植樹から50年程度が経過)があげられる。

③バリアフリー対応の必要性

- ・地形に高低差があり、車いす利用者等が行きづらい施設がある(城山動物園の一部など)

④南北道路を挟んで、高低差のある公園敷地の活用

- ・南北の道路(長野北237号線)で分断され、かつ、この道路沿線には高低差があるため、連続するような空間利用の方法が課題となる。(なお、プールや動物園、少年科学センターの一体のエリアは、高低差がほとんどなく、まとまった空間が検討できる。)



(2)利用動線 ①城山公園の周辺からのアプローチ

利用者動線の整理(歩行者の視点にて H29時点)

- ・利用者動線として、想定されるのは次の5つである。
- ①善光寺北側の駐車場からの動線(善光寺北バス停の動線と重複)
- ②善光寺北バス停からの動線
- ③善光寺からの動線(2箇所ある 現在噴水広場、美術館改修中)
- ④信濃美術館、東山魁夷館に併設する駐車場からの動線
- ⑤立体駐車場、動物園北の駐車場からの動線
- ⑥長野北122号線の周辺の駐車場からの動線

④専用駐車場からの動線

- ・美術館利用者の専用駐車場。
- ・現在、信濃美術館の入口は、バリアフリー化されていないため、車いす等利用者が美術館に向かう際は、本駐車場からの利用が主と考えられる。
- ・団体客用の大型バス用の駐車マスが設けられていない。

○東山魁夷館駐車場



○信濃美術館駐車場



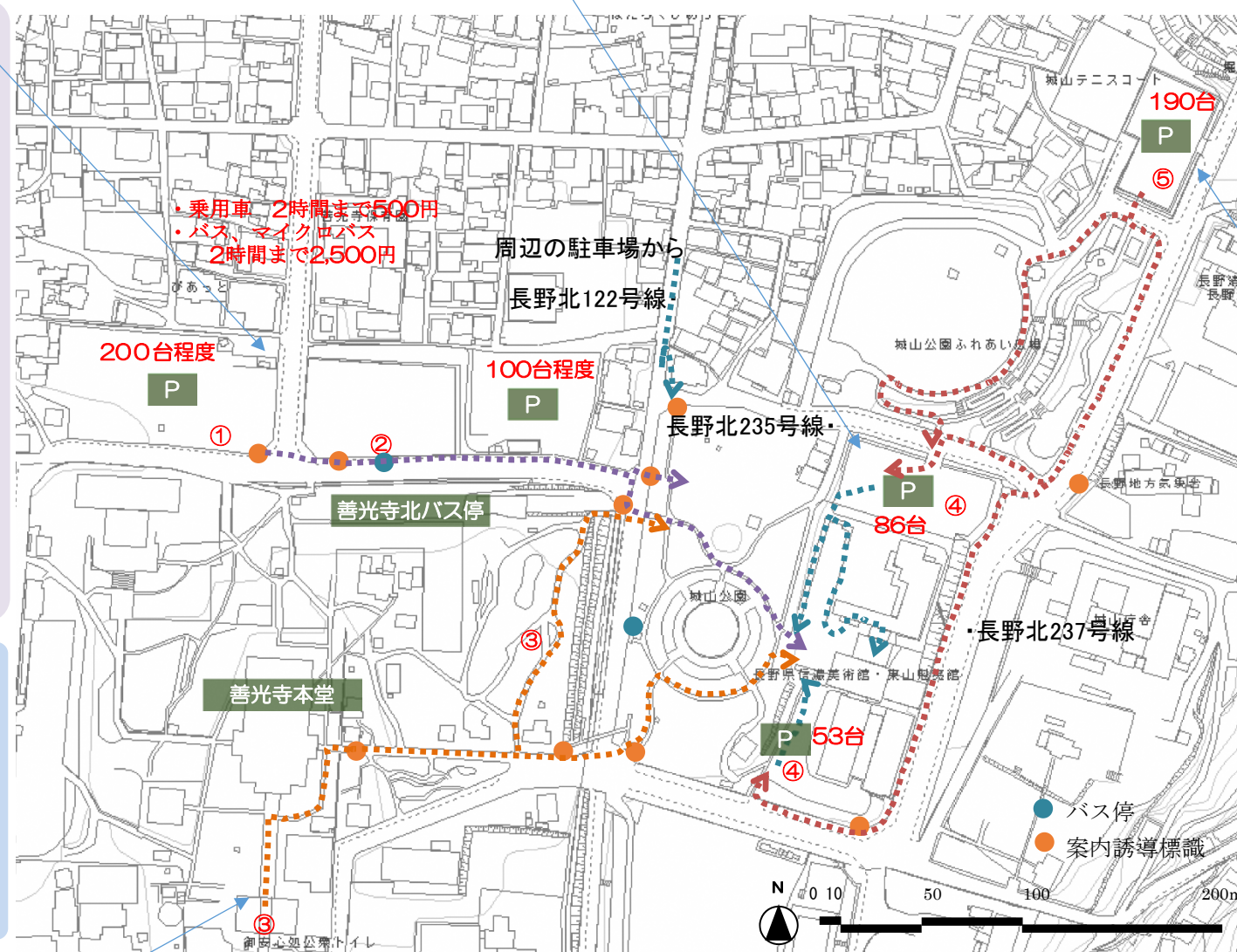
①②善光寺北駐車場、善光寺北バス停からの動線

- ・善光寺北側の駐車場に駐車もしくは、長野駅からバス利用の来訪者を想定。
- ・多くは城山公園内を通過して、両美術館に向かうことが考えられる。



○城山公園バス停

- ・公園内にバス停がある。このバス停は、長野駅に向かう際は便利である。
- ・長野駅から下りるバス停は、「善光寺北バス停」となる。



⑤立体駐車場等からの動線

- ・広場、動物園などの公園利用とあわせて、美術館も見学することを想定。
- ・立体駐車場は公園利用者全体の駐車場である。



③善光寺からの動線

- ・善光寺境内を通過する動線。善光寺を観光して、公園・美術館を利用することを想定。
- ・善光寺からは2箇所動線がある。
- ・善光寺と公園の交差点には、横断歩道、歩道橋が設置されている。
- ・歩道橋からの眺望として両美術館は視認できない。



②園内の利用者動線

- ・園内の中央を走る道路は、公園利用の車、周辺施設の関連車両、一般車両と歩行者動線の交差があり、安全面での課題がある。
- ・南北に長い公園であるため、噴水広場等から動物園への徒歩での移動距離は長いと考えられる。

- ・駐車場から動物園方向へ向かうアクセス。(歩道沿いに歩くと、最低1回は、横断する。)



- ・一般車両の行き来が可能な道路。



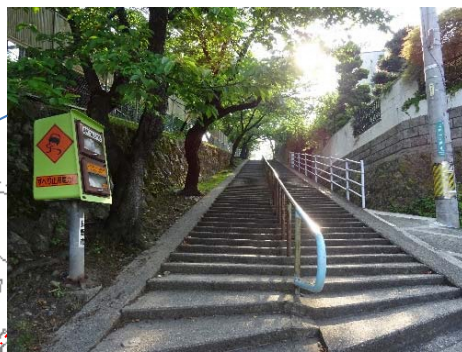
- ・清泉女学院中学・高等学校の関係車両(シャトルバス、通学の送迎車両)が通行する動線がある。



- ・居住者の車動線として、本路線、アプローチは重要である。
- ・長野大通り線からのアクセスは歩行者動線のみとなっている。



- ・左右の広場に遊具等があるため、子供の移動が多くあると考えられる。



- ・歩行者は、階段を利用して城山公園に入ることができる。

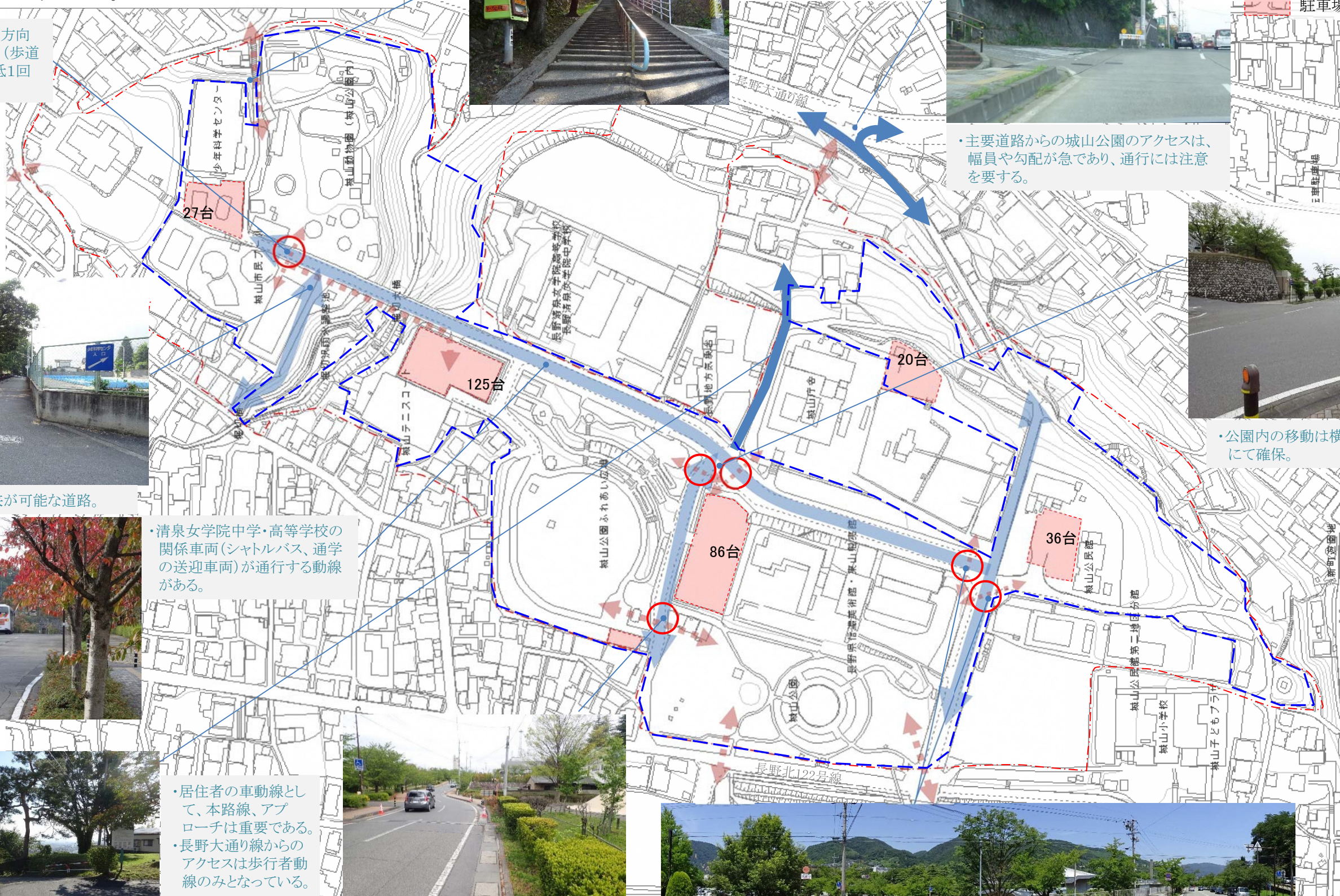


- ・主要道路からの城山公園のアクセスは、幅員や勾配が急であり、通行には注意を要する。

- 城山公園 計画区域
- 開園区域
- 駐車場



- ・公園内の移動は横断歩道にて確保。



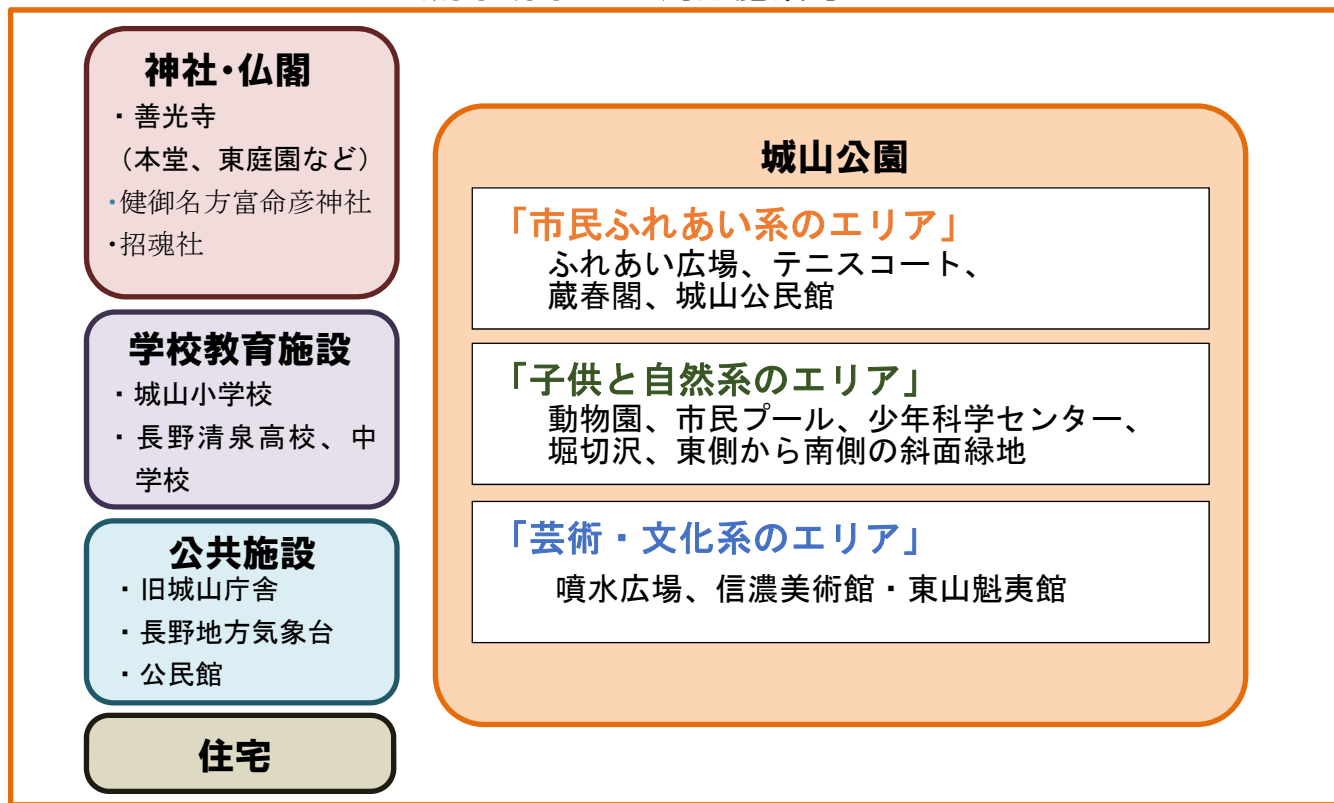
③利用者動線等のまとめと課題

■現状の利用者動線の整理

城山公園とその周辺の施設の状況、利用者の種類と交通手段を模式図にてまとめる。

周辺施設として、城山公園のまわりは、善光寺のほか、学校教育施設、气象台などの公共施設、住宅が立地している。

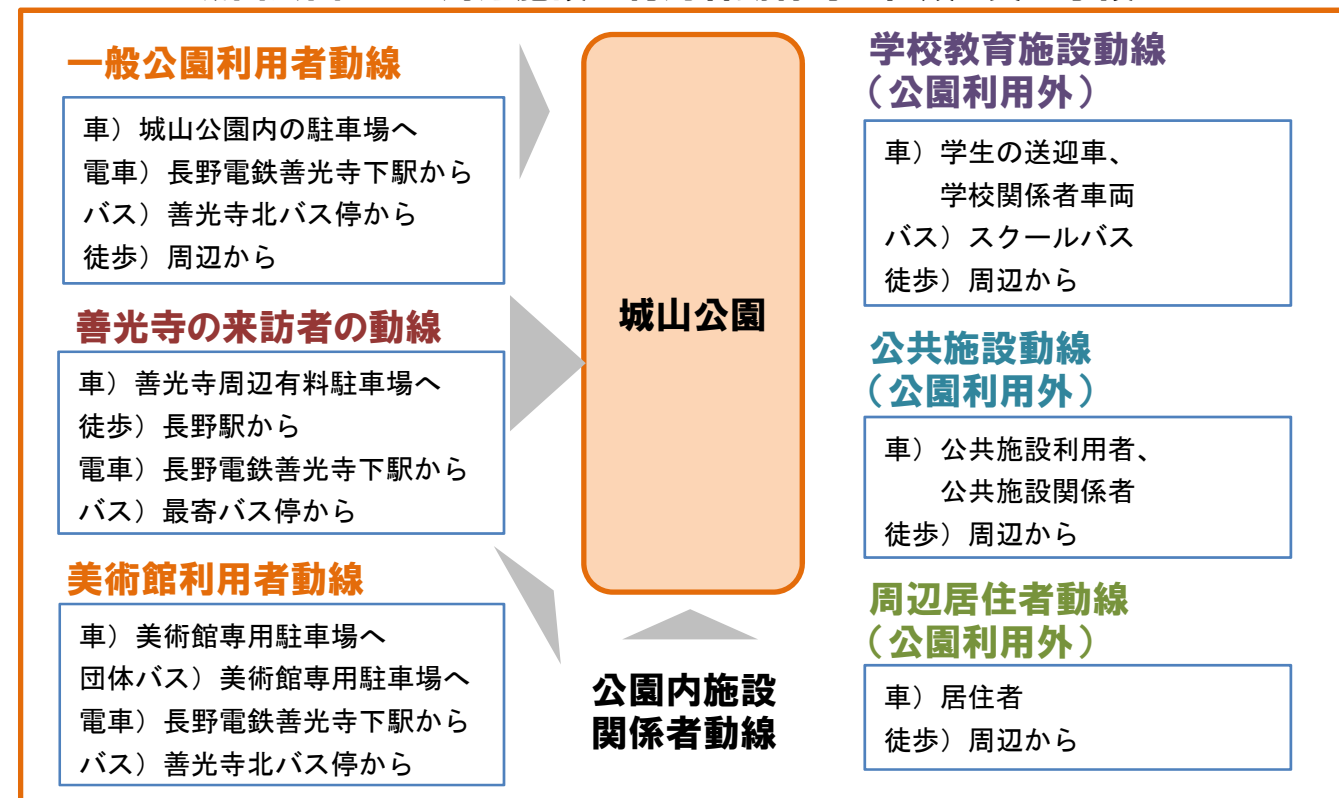
城山公園とその周辺施設等



利用者の種類として、公園利用者、「城山公園へ足を延ばす」善光寺来訪者、美術館の一般利用者、に大別できる。交通手段として、徒歩、車、電車、バスがあげられる。

また、城山公園周辺の公園利用外の動線として、学校教育施設動線、公共施設動線、周辺居住者動線があげられる。

城山公園とその周辺施設の利用者動線等の種類と交通手段



■動線の課題

A.歩行者動線との交差、安全性の確保の課題

- ・歩行者動線と自動車動線の交差により、移動による安全性の確保が課題。



B.大規模公園であるため、利便性を考慮した各施設へのアクセスの課題

- ・長野市の大規模公園のひとつである総合公園であるため、広範囲の施設が広がっている。
- ・少年科学センターや動物園にアクセスするには、既存道路の走行が必要であり、主要施設のアクセス路の確保が課題である。

C.施設間の連続性の確保が難しい

- ・城山公園内を一般車両が走行できる道路が走っているため、施設同士の連続性の確保が難しい。まとまって広がりある施設利用が課題。
- ・車動線の見直しを行う必要がある。



D.車動線を考慮した駐車場の再配置の必要性

- ・公園利用者の車の駐車場確保が課題。駐車ができない場合がある。
- ・美術館や公民館の駐車場は施設専用であり、公園のみ利用者の駐車はできない。これらの管理運営方法の見直しも課題。

E.園内の道路が周辺の施設の重要幹線となっており、公園利用外の動線の確保が課題。

- ・公園周辺の居住者の重要な生活道路となっている（都市公園の区域内）。
- ・学校通学の重要な通学動線となっている。
- ・公共施設（長野地方气象台等）の通勤動線となっている。
- ・上記の重要な幹線となっているので、幹線を含めた周辺を公園利用するならば、代替道路や、対応策を検討することが必要である。

